

# さらさら

6/20  
No.3



多摩川地区協議会報  
令和2年(2020年) No.3



誌名「さらさら」の由来

万葉集「多摩川にさらす手作りさらさらは何ぞこの見のここだかなしき」  
～多摩川でさらして作られる布地のように、この見は何と愛おしいのだろう～  
という万葉集の句から誌名をいただいています。

E-mail tamagawa.chikukyo@gmail.com

Facebookでシェア



東日本大震災から9年目の3月11日 ニヶ領上河原堰にて 多摩川地区協議会 副会長 名取 訓さん撮影

新年度を迎えて 会長 熊谷里佳

## 思いやりで助け合える地域を目指します

平成から令和へ元号が変わった昨年度、調布は“一生に一度”のラグビーワールドカップを経験しました。日本中が熱狂した夢のような1カ月でした。が、まさにその最中に上陸した台風19号—甚大な被害は忘れることができません。私たちが暮らす多摩川流域は、浸水寸前。時間を追うごとに上昇する水位は、今までにない脅威でした。

台風の爪痕が残るこの年度末、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校は臨時休校へ。私たちの様々な活動は制限されています。2月に復旧した河川敷の野球場ですが、緊急事態宣言を受け、長くグラウンドは閉鎖。6月になってようやくグラウンドに子供達のユニホーム姿が見られるようになりました。

喜びも多かった中、災害や困難がより身近になり、日常のありがたさを実感した1年でした。その中で、まずは自分の命が助かること。自分の大切なものを守ること。余力があれば隣の人に声をかける、手をさしあげる。

その後、助かった命で、ご近所と助け合い、日常を取り戻す…という優先順位を再確認させられた1年だったと思います。

災害は防げないけれど、行政も何もかもが被災者になり得るとき、いち早く立ち上がり、日常を取り戻すには、地域の底力が試されます。日頃から“その時”を想像し、備えておくことが大切です。

例えば、もし、避難所で生活することになったら…

避難所は自主運営です。市役所や学校が主導してくれるとは限りません。

誰もが主体的にできることを考え、協力しなくては、復旧まで持ちこたえることができません。

物資や知識の備えのほかに、そんな心構えも大切な備えの一つです。

私たち多摩川地区協議会は、様々な活動を模索しながら、“その時”をともに考え、ともに助け合える仲間作りを第一の目的としています。

残念ながら中止となりましたが、4月25日に予定されていた「調布市防災教育の日」

では、台風19号の襲来一波を受け、当協議会でも実際に避難所となった学校区の報告や「多摩川小学校避難所マニュアル」を読み合わせ、同台風で問題になっていた「避難所開設時の混乱」を、住民自らが主体的に動くことで回避する仕組みを模索し、試みたいと計画していました。訓練は中止でも、またコロナ禍の今でも、災害は起こります。一日も早く、事態が収束し、日常を取り戻せることを祈りつつ、自粛しながら、“その時”への心構えも忘れずに！

設立4年目の今年度も、活動はまだ手探りですが、ひきつづき地域に参加し、ご協力をいただきながら、主に防犯・防災に関する活動をいたします。

是非、多くの方にご参加いただき、「地区協」のあり方を一緒に考えながら、仲間を増やしませんか？地域での日常をより豊かに、いざという時や皆が疲弊してしまいそうな時は、“おもしろい”で助け合える地域を目指します。

令和2年度も、どうぞよろしくお願いたします。

# 体験型防災フェス

多摩川地区

ぼうさいフェス



2019年12月7日  
多摩川小学校にて

昨年12月7日、毎年恒例の防災フェスが開催されました。一昨年に引き続き多摩川地区協議会の主催で、地域の様々な団体の協力を得ての開催となりました。体験型のイベントとして誰もが楽しめる内容で、多摩小の子供達も土曜日の放課後、たくさん参加してくれました。

当日は調布市消防団第8分団の協力により、煙体験や消防自動車による放水のデモンストレーション、さらには消火器を使った消防訓練などが行われました。

さらには防災グッズの展示、高齢者疑似体験、縄結びの訓練、炊き出し訓練なども行われました。300食用意された災害非常食のアルファ米を使ったカレーライスには長蛇の列が出来、あっという間の完食！また、台風19号の被害の様子も展示・報告され、火災、震災、水害など様々な災害に対する意識を高めてもらうための貴重な時間と空間の提供となりました。

多摩川地区協議会では、これからも防災に関するイベントなどを通じて、地域の皆さんと共に防災について考えていきたいと思っております。2020年の防災フェスについては詳細が決まり次第広報させていただきます！お楽しみに！



火災時の煙体験！  
ブースの中は思った以上に何も見えないことに“びっくり”



消火器を使った消防訓練！



当日はJ-COMの取材も入りました



Curry!

炊き出し訓練ではアルファ米とカレーが300食用意されました



カレーは行列ができる程の大盛況あっという間の完食でした！



お昼の時間はさながらピクニック♪  
楽しい時間を過ごしていただきました



調布市消防団第8分団による消火放水のデモンストレーション

進め!

★訪問レポート★

## 調布市消防団 第8分団

地域の防災に欠かすことのできない消防団。調布市多摩川地区には、調布市消防団 第8分団があります。実際に京王線調布多摩川鉄橋梁のそばにある第8分団に訪問して消防団の役割について伺ってきました。

### 【街を守る大切な役割】

消防団は消防署と同様に消防法に基づき、各市町村に設置される消防機関。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。消防署と協力して消火活動などを行います。地域防災の視点に立って、街づくり・地域おこしを推進していくには、私たち地区協議会の様な自主防災組織を始めとする地域住民が、消

防本部・消防署や消防団と構成する消防機関と緊密な連携を保ち、一体となって取り組んでいく必要があります。特に消防団は我が国のほとんどの市町村に設置されている歴史ある組織で、十分な訓練と経験を積み、地域防災に尽くしていただいています。消防署の職員とは異なり全ての団員はボランティアから構成されており、街の防災リーダーとして日夜活動を続けています。



3月のまだ寒い日、ストーブを囲みながらお話を伺いました！

月二回 装備の点検日があり団員が集まります。現在団員は16名。20代から50代で構成されています。消防団は18歳から参加でき女性の入団も可能です。



制服姿も凛々しい第8分団の皆さん!



第8分団は多摩川白衣観音菩薩の隣児童公園管理棟と同棟にあります



いつでも出動できるように消防服も整然と並べられています

消火用のホース使用後は火の見櫓から吊るして干すそうです



火の見櫓の「半鐘」は消防団のシンボル



▲第8分団所属の消防車 消火活動の他地域内の広報活動などに使われます



▲様々な計器が配備されている消防自動車内部



▲最年少22歳の松永幸さんに消防服を装着していただきました



分団長の井ノ口さん▲

### ★第8分団では団員を募集しています★

消防団は地域貢献をする最も身近なボランティア活動！皆さんの参加をお待ちしています。

連絡先 090-5204-6120

E-mail: inoguchi.rookies@ezweb.ne.jp

調布市消防団第8分団 分団長 井ノ口 幸

# 台風19号襲来 令和元年10月12日

## その日



10:26 多摩川



13:56 あっという間の増水



14:10 石原水位観測所



18:26 多摩川に足通り土嚢から水が漏れ出ている



グリーンホールに避難した人々

猛威を振るった令和元年19号台風。私たちの街を流れる多摩川でも、10月12日の夜、下流域の染地三丁目付近で、多摩川が警戒水位を超えた為に支流の「根川」に逆流。多摩川住宅の付近で冠水がありました。深いところでは1mの水位となり、さらに多摩川下流の二子多摩川、対岸の武蔵小杉付近でも冠水を記録し、あらためて水害被害の恐ろしさを目の当たりにしました。

この大水害は、テレビドラマ「岸辺のアルバム」にも描かれた、昭和49年16号台風による「多摩川水害」以来、41年ぶりの多摩川における甚大な被害を及ぼした水害となりました。

まだ記憶にも新しい出来事でしたがその日、10月12日の様子をお伝えします。

その後、多摩川地区協議会役員会や調布市文化会館たづくりで開かれた防災勉強会でも、この10月12日の19号台風を機に、多摩川の水害対策の意見交換が活発に行われました。ハザードマップによれば、多摩川地区は多摩川が増水し堤防を乗り越えた場合は、ほぼ全域が浸水し、場所によっては水没深度が10mに及ぶエリアもあります。

水害の場合、避難場所として多摩小や五中も適切では無く、ハケの上まで避難することが求められます。避難場所も定員に限られているため、“その日”に備えて、安全な場所にある親戚や友人の家などへ避難できるような心づもりや日ごろからのコミュニケーションが大切になります。

水害は震災や火災などとは異なった対応が必要になってくる事を、多摩川地区住民として心掛けておきたいところです。



富士見台小学校の様子



22:13 二本松付近あと僅かで防波堤突破!



車が水没した染地付近の多摩川住宅

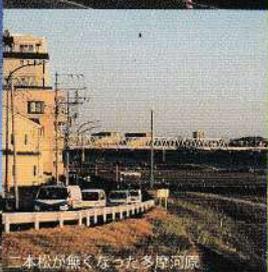
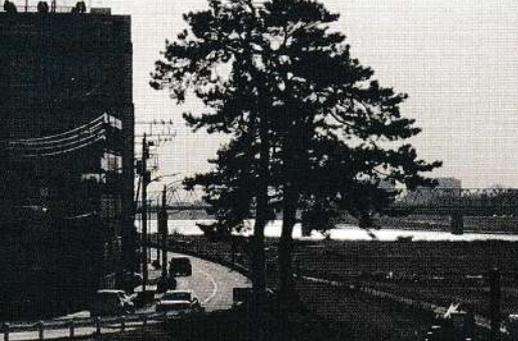


翌13日朝の増水した多摩川 土砂や流木が落ちている

# 樹齢160年、 さようなら二本松

多摩川のシンボル！  
惜しまれつつやむなく伐採へ

2/25 二本松の最後の雄姿



古くからの多摩川のシンボル二本松は、巨木となって年輪を重ね木の幹が太くなり堤防と接触するようになり、ついには堤防にヒビが入るまでになっていました。そして、昨年の令和元年の台風19号の襲来により多摩川が増水。堤防の決壊も懸念される中、国土交通省はこの二本松を伐採する事を決定。昨年末に地区協議会にも通達がありました。防災のためとはいえ、何とか保存の方向も考えられないか？という意見もありましたが、防災は待った無し！2月末に伐採作業が3日間に渡り行われました。古くは渡し舟や、投網漁の舟を繋いだり、多摩堤通りの道標だったり、長年親しまれてきた二本松！惜しまれつつ伐採作業は終了しました。さようなら二本松！ありがとう街のシンボル！

伐採作業に立ち会った中、二本松のうち多摩川を見下ろす右側の1本は中心部には白アリが巣くっており、幹から折れてもおかしくない状況に陥っていました。もし、強風などで木が倒れたりすると道路や民家がすぐ横にあるために大惨事になっていたかも知れません。まさに絶妙なタイミングでの伐採だったのです。



# 多摩川地区協議会 年間活動

年間の活動について  
新型コロナウイルス感染拡大により先行きがわかりませんが  
次の様なスケジュールで年間の活動を行っています

- 4月 防災教育の日 (中止)
- 5月 第4回総会 (中止)
- 7月 定例会 (中止)  
盆踊り大会@多摩川小学校 (中止)  
納涼会参加  
@京王閣競輪場 (親交自治会主催) (未定)
- 9月 定例会
- 11月 防災フェス (予定)  
定例会
- 12月 防犯パトロール (親交自治会主催)

ほか

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により  
日程変更、中止の場合もあります。ご注意ください。



多摩小盆踊り

定例会は隔月で 19～20 時  
多摩川小多目的室で開催  
どなたでも自由に参加できます！

地区協議会の活動へ参加してみたい方募集

地区協活動に参加してみませんか？

▼連絡先▼

調布市生活文化スポーツ部  
協働推進課

TEL: 042-481-7936

FAX: 042-481-6881

Komyuni@w2.city.chofu.tokyo.jp

調布 地区協議会

検索



地区協議会ってなあに？

## 多摩川地区協議会の活動



地区協議会とは、小学校区をコミュニティエリアとして地域で活動する各種団体や地域住民が連携・協力し、地域のまちづくりのために自主的に活動するネットワーク組織です。

地域の団体の上に立つ組織ではなく、団体同士や地域住民を横系でつなぐ組織です。一つの団体だけでは対応が困難な課題でも、地域で協力しながら取り組む方がより効率的・効果的に、防災・防犯や環境美化、広報などを行う事ができると考え、地域の皆さんと一緒に活動しています。

市内には20の小学校区があり、現在そのうちの17地区で地区協議会が設立され、活動をしています。調布市内 16 番目の地区協議会として、多摩川小学校区に2017年に誕生しました。

＝新型コロナ相談窓口＝  
東京都感染症電話相談

0570-550571

9時～21時(毎日)

新型コロナ対策  
パーソナルサポート@東京

LINE 友だち追加



ハザードマップを確認を！

台風や豪雨の際、多摩川をはじめとする  
河川の氾濫に備え、調布市洪水ハザードマップを  
確認しておきましょう！  
日頃からの避難場所の確認が防災の第一歩です。



★洪水ハザードマップは総合防災課でも配布しています★

総合防災安全課

文化会館たづくり西館3階  
月～金 8:30～17:15

042-481-7346～8

bousai@w2.city.chofu.tokyo.jp



調布市洪水ハザードマップ  
QRコード